

活動報告書

事業名／講座名	Let's WIN-WIN～広げよう笑顔のサークル～ 『開級式』
日時	令和 6 年 7 月 20 日（土曜日） 9時から12時まで
場所	潟上天王つくし苑
参加人数（内訳）	参加者 24 名、 スタッフ 10 名 合計 32 名
講師	特になし
実施状況	8：15～ ・スタッフ集合 本日の打ち合わせ ・活動準備 9：00～ ・参加者 集合（受付、検温、視診） 9：20～ ・活動①「友達になろう～！」自己紹介と1年間の活動予定公表 ※名札作りをして、自己紹介（趣味や好きな食べ物を発表）   10：00～ ・活動②「コミュニケーションゲーム」 No. 1【ジェスチャーゲーム】 ※1枚カードを引いてジェスチャー！「これなあ～んだ」   - No. 2【つくし苑クイズ】 ※「つくし苑」のあるあるクイズ。「この職員だ～れだ?!」等

	 
11 : 30～ 11 : 40～ 12 : 00～ 13 : 00	・座学「掃除道具の使い方」  雑巾での水拭き、ほうきでの掃き掃除、玄関掃き掃除など、今年は掃除もみんなで行ってから「終了」できる事を目指す。 ※ほうきはモップでは無いので「横に」動かす。 ※この後、皆で一緒に掃除をした。 ・片付け、清掃 ・帰りの会（次回の予定を聞く。） ・解散（保護者が迎えに来た方から帰宅） ・スタッフ片付け ・反省会、次回の予定伝達 ・終了
成果○と課題●	○職員も今年度新しく結成しスタートした。7年目となるが、実りある1年にしたい。参加者の中に中学生も3名参加になった。市内の方で保護者も一緒だが、落ち着いて参加出来ていた。今後の「居場所づくり・仲間づくり」として保護者が考えているようだ。継続して参加してもらえよう、サポートしたい。 ○職員、参加者共に心機一転、「仲間づくり、自己成長」を1年間の目標に掲げたい。参加者もこの場に来ると「おお～！！」と再会を喜んでいる。声を掛け合わなくても、表情や視線・行動で表現している様子がとても「自分らしく、いられる場所」なのかなあと感じられる。今年も楽しい経験・体験ができるように考えたい。 ●スタッフとの連携不足が今年、どのくらい改善出来るか、考えたい。事前に1回は打ち合わせをするが、中々都合が合わず不十分な伝達のまま当日を迎える事が多い。スタッフとしての当日の自分の「動き」が把握しきれないまま、活動が始まるので改善していきたい。

活動報告書

事業名／講座名	Let's WIN-WIN ～広げよう笑顔のサークル 「電車の旅・in 大館」
日時	令和 6 年 9 月 21 日（土曜日） 9 時から 15 時 30 分まで
場所	八郎潟駅～大館駅 周辺散策
参加人数（内訳）	参加者 15 名、保護者 4 名 スタッフ 10 名
講師	特になし
実施状況	8：00～ ・職員集合、本日の打ち合わせ のちに担当部署へスタンバイ。 （忘れ物確認や切符の確認・購入） 8：40～ ・参加者集合 （各自、忘れ物確認と切符を自分で購入。自分で療育手帳を利用。） 9：40～ ・「朝の会」と本日の行動伝達。 ※今日のパンフレットを配付しグループを発表。グループ行動である事を伝える。 10：05～ ・トイレ誘導、健康観察をして保護者と別れ改札口へ。   ・電車へ搭乗 10：17～ （本日、高橋優さんのコンサートが二ツ井である事が判明。車内は超満員。参加者は経験のない「すし詰め状態」を経験しました。） 11：28～ ・大館駅到着 グループ行動開始 （4 つのグループは、食事の場所や見学場所など地図を見ながら行動開始）  （大館駅到着）



(ハチ公の銅像前)



(駅前・食事処「花善」にて)



(秋田犬の里)



(秋田犬の里 館内)



(駅前公園内 青カエル電車内)



(駅周辺散策 わっぱビルディング)

14 : 00～

- ・大館駅構内集合
(トイレや忘れ物がないか確認。切符の確認。)

※帰路へ

14 : 14～

- ・大館駅出発
(帰りはゆっくり座って帰れた。)

15 : 28～

- ・八郎潟駅到着
※保護者が来ている方から、解散。

15 : 45～

- ※全員引き渡し完了
・反省会 (事故・ケガ、異常なし)

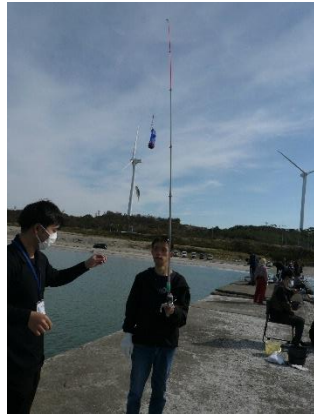
16 : 00～

- ・職員解散

成果○と課題●	○とても色々な経験ができた。切符の購入では日頃利用しない「療育手帳」を使い、購入する事ができた。保護者には一歩下がってもらい、駅員さんと対面し、往復切符を買う事ができた。 ○満員電車も初体験という声も聴かれた。噂?!には聞くが「すごかった〜!」と・・・迷子にならないか、二ツ井駅でファンの人たちと一種に降りないか!とても心配で職員に即「確認」してもらった。皆、無事に「居た〜!」と一安心だった。 ○現地解散、グループ行動では正味2時間半でしたが、見学、飲食、散策等、充実していた様子だった。「もう少し見学したい〜」「もう帰る?」「まだアイス食べてない〜」等、満喫?!して、14時に集合した。最後のグループは、電車がホームに入って来てからの集合になり、とても焦った。時間いっぱい「旅」だった。 ○八郎潟駅解散時の保護者も思い思いの声が飛び交っていた。「どうだった?」「何を食べたの?」参加者の表情や話に保護者も笑顔だった。 ○今回の「旅」は職員になって9か月目の方にプラン作成を依頼した。段取り、構成、手配等、多面に渡り任せてみた。大変だったと思うが、一つの活動を成功させるにはこれだけの時間と労力が必要で、人員的にもどれだけ必要か等、とても良い経験になったと考える。職員育成は今後の課題でもあるため、このような経験の機会を多く考えていきたい。 ●事前に情報共有として、職員に駅周辺の状況は伝えていたが、職員の臨機応変さにより、見学箇所にばらつきが生じてしまった。当日、雨天で足元も悪かったので濡れてしまい、着替えもしないままでの対応になってしまった。今後は、多少でも予備を参加者にも呼び掛け、準備が必要と考える。
----------------	--

活動報告書

事業名／講座名	Let's WIN-WIN ～広げよう笑顔のサークル～ 「釣りにチャレンジ」
日時	令和 6 年 10 月 19 日（土曜日） 9 時から 12 時 30 分まで
場所	男鹿市 若美漁港 堤防
参加人数（内訳）	参加者 9 名 職員 10 名 保護者 2 名 合計 20 名
講師	特になし
実施状況	8：00～ ・職員 A チーム（天王つくし苑）集合 （本日の打ち合わせ） ※活動の準備（竿、バケツ、軍手、救急セット、防寒着 数着） 8：30～ ・A チーム参加者 集合、点呼 （健康観察、検温、集金、など確認） 8：40～ ・大潟村の道の駅「道の駅 おおがた」へ移動。 9：00～ ・職員 B チーム（大潟つくし苑）集合 （打ち合わせ） 9：15～ ・A、B 全員集合 トイレ誘導、安全確認、本日の行動伝達。 9：30～ ・漁港へ移動 10：00～ ・到着 降車し準備。（海に落ちない様に注意）   11：50～ 12：10～ * 竿を組み立てる。 * 投げる （糸を撒く）  * 針をつける。 * 餌を付ける。 



- ・片付け（釣り場を綺麗にして帰りましょう。）
- ・車両に乗り込み、「天王つくし苑」「道の駅 おおがた」へ移動。
（保護者が迎えに来る場所へ行き、引き渡し完了）
- ・職員片付け開始 修了後 反省会
- ・全活動終了 職員解散

成果○と課題●

- 今回、初体験の「釣りにチャレンジ」でした。4匹は釣れたので皆で喜んだ。餌を付ける事も一苦勞で、針が指に刺さる方もいた。そして、いよいよ「投げる」時。これが1番大変だった。糸を指にかけ、振りかぶると同時に離す。この動作が難しく中々進まない。後半、終了間際になると、数名の参加者が上手くできる様になり、「投げられた〜!」と話してくれた。魚を釣るより動作が出来るようになった事が、「出来る」自信や「もう1回やってみたい」に繋がると考える。このような経験・体験を沢山出来たらと思った。
- 釣る前の竿の準備、針と糸の接続にとっても時間がかかった。男性職員を増員したが、接続の結び方が解らず、時間がかかってしまった。事前の準備はしたが、根がかりで糸が切れたり、また接続したりと、9名の参加者に9人の職員が必死で針付けをした。練習が必要だった。

活動報告書

事業名／講座名	Let's WIN-WIN ～揚げよう笑顔のサークル～ 『踏みうどん』
日時	令和 6 年 11 月 30 日（土） 9 時から 15 時 30 分まで
場所	潟上天王つくし苑
参加人数（内訳）	20 人（参加者）2 人（保護者）1 名（県生涯学習センター） 職員 11 名（給食職員 3 名） 合計：35 名
講師	特になし
実施状況	8：00～ * 職員集合（打ち合わせ）➡準備（使用道具、手順書等の視覚的教材準備） 場所の準備（貼りもの等） 8：45～ ・参加者集合（健康観察、視診、集金等を確認する。） （フリータイム） 9：10～ ・「朝の会」・・・本日の予定を確認。グループ分けて仲間確認。 準備（エプロン、三角巾、手洗い、マスク着用） 9：30～ ・スタート ① 粉を分量に分け、水・塩を入れ捏ねる（ひとまとめ） ② ビニール袋に入れ、15 分寝かせる ③ 天ぷら 5 種の準備（野菜、肉等のカット。味付け等） 火傷に注意して、天ぷらを揚げる ④ ②の寝かせたうどん生地をビニール袋に入れたまま、丸く踏む。 （直径 40 cm 程に伸びたら折り込み、再度踏む。）×2～3 回（しっとりしているか確認）➡再度 15 分寝かせる

- ⑤ 寝かせている間に、再度、天ぷら体験。又は、「薬味（ネギ、ショウガ）の準備」めんつゆを作る（鰹節、昆布を使用。酒と醤油で整える）
- ⑥ ④の工程をここでもう1回行う
- ⑦ 踏むことを2回行った生地を延ばす→切る（なるべく細く）
- ⑧ ゆでる→10分程ゆで、水でしめる

❖①～⑧の工程をグループ行動で全部、体験する。



- ⑨ 麺の盛り付け、天ぷらの盛り付け準備
- ⑩ 試食会

12:10～



13:30～

❖「ごちそう様」・片付け

14:00～

・コミュニケーションゲーム 「チーム対抗ボール送り」「これだーれだ！」



15:30～

・片付け、清掃、
・「帰りの会」（忘れ物確認、保護者が来た方から、帰宅）

16:00～

*職員も片付け、清掃 →反省会
*解散

成果○と課題●	○今回も全行程を全員が体験することを目標に行った。うどんの生地は踏む程に「コシ」が出てしっとりした生地になった。参加者もこの企画を楽しみにしている様子で、時間いっぱい楽しんでいた。出汁も天ぷらも全て自家製のものを使用した。天ぷらを「やらせたことがない」と参加した保護者がドキドキしていたが、参加者は「やってみたい」気持ちを全面に、どの工程も率先して行い、顔が粉まみれでもニコニコして頑張っていた。 ○保護者も「家ではやらないのに、ここでは生き生きと参加している。とてもよい仲間達で、是非今後も参加したい。」と話していた。 ○今回の段取りでは、この仕事について1年目の職員が主になり実行してみた。経験のない活動を事前に実体験し、当日に対応していた。時間配分や前準備、「どのように参加者が動くか？」等、予測を立てながら計画した。本人的には反省点もある様子だったが、このような経験を積み重ねていくことが、本当の意味での「障害者理解」伝達者としても生かせると考える。職員にも経験値が上がる今回の活動だった。 ●活動前日に打合せを行い、行動予測も説明し、職員一人一人の行動も伝達したが、当日は再度説明しないと動けない様子が見られた。職員の行動予測も、もう少し時間を掛けて、説明や事前行動が必要だと感じた。「お互いの理解度の差」が見られた。
----------------	--

活動報告書

事業名／講座名	冬季ミニ運動会 ～Let's WIN-WIN～広げよう笑顔のサークル～
日時	令和 7 年 1 月 13 日（月） 9 時から 12 時まで
場所	地域コミュニティ「天王ことぶき荘」
参加人数（内訳）	参加者 18 名 職員 10 名 合計 28 名
講師	特になし
実施状況	8：30～ 8：50～ 9：10～ 10：00～ 10：25～ 11：30～ 11：45～12：00 12：00～12：05 12：05～ 12：30～ *職員集合、検温、体調チェック。 ・ 本日の内容、打ち合わせ（運動会のプログラムを確認し、道具の準備（準備が出来次第、会場へ向かう。） *受付（検温、体調チェック、視診を行う。） *朝の会、本日の流れを伝え準備運動を行う。（ラジオ体操） 準備運動＆身体機能の維持運動 ① 腕立て伏せ、腹筋、背筋…10 回×2 セット ② 片脚立位…10～30 秒（×2 セット） ③ 片足一歩前に大きく開く。（何センチ開けるか） ・ トイレ休憩、水分補給 ④ 借り物競争 ⑤ 綱引き ⑥ リレー *座学「感染症対策について」 うがい手洗いマスクの 3 原則 *掃除（モップ掛け） *次回の予告、帰りの会、帰りの挨拶 ※保護者が迎えに来た方から降参、帰宅 ・ 残りの職員から清掃、後片付け開始 ・ 本日の申し送り、反省会 *職員解散    
成果○と課題●	○年が明け、運動不足も懸念されていたため、運動会を行った。本当は、雪中運動会を予定していたが、雪がないため体育館に変更した。広い場所での運動に参加者たちもストレス発散に繋がったように感じた。また、プログラムも職員がバリエーションに富んだ内容を考え、とてもよかった。車いすの方も参加しており、大変良かったと感じた。 ○地域のコミュニティ会場を借りたが、快く借していただいた。今後も地域の施設を借りながら、障害者理解に繋がっていきけるようにする。 ●曲をかけた方がもっと、盛り上がったと感じた。職員の声掛けだけで、淋しい感じがした。 ●今回、運動会に参加できず、「場の共有」だけの方がいた。参加できるとよかったが、遠慮して見学のみであった。声掛けの工夫が必要だった。

活動報告書

事業名／講座名	恵方巻にチャレンジ ～Let's WIN-WIN 広げよう笑顔のサークル～
日時	令和 7 年 2 月 8 日（金） 9 時から 12 時 30 分まで
場所	潟上天王つくし苑
参加人数（内訳）	29 名 （参加者 18 名、職員 10 名、保護者 1 名 ）
講師	特になし
実施状況	職員集合（検温、消毒） 8：00～ *朝礼、本日の打ち合わせ ・準備開始 ・米を炊く ・会場準備（テーブル、机、横断幕 など） 9：00～ *参加者来苑 （検温、視診など健康観察） 9：10～ *今日の流れを聞く（座学「恵方とは？」、恵方巻きの準備） ・座学「恵方とは？」 9：30～ *調理開始 ★今回職員は口頭指示のみ！参加者はどのように具材を煮たり、焼いたりするか？どこまで自分でできるか？



11 : 30～

* 食事



11 : 45～

12 : 15～

12 : 30～

* 1年間の振り返り（感想を話す）

* 片付け 持ち物確認 ～最後の挨拶～

* 解散



12 : 50～

13 : 30～

* 後片付け、掃除など（職員）

* 職員解散

成果○と課題●	○今日は、職員に「手を出さず口頭で伝える！！」という課題を出して行った。職員が手を出し過ぎれば参加者の自発的行動の抑制になる。職員には「伝達」の難しさを感じてほしいと考えた。 ○職員が手を出し過ぎていたり、言葉掛けがなかったりした場面もあったが、参加者は、自分の役割をきちんと理解して楽しんでいた。「やってみたい！」という気持ちが表現されて集中していた。恵方巻は「簡単」と思っていた人が多かったのか、やってみると意外と巻くことが難しかった。具が多かったり、太すぎて巻けなかったりする等、悪戦苦闘した様子だった。しかし、大満足で「美味しかった！」と、笑顔が見られた。 ○委託事業が、今年度最後で少し寂しい様子も見られ、「来年はいつから？」とも聞かれました。うれしい一言だった。 ●職員の人数確保と職員の質の向上が課題と感じる。職員は、障害をどのくらい理解し、どんな支援や声掛けをするのかにより、参加者の満足度が変わると考える。人間理解、障害者理解は、時間をかけて育成していかなければいけない課題と思う。
----------------	--